

開港5都市 景観まちづくり会議 横浜大会 2014

2014年10月17日(金)～19日(日)

テーマ：『開港5都市のみらい これからもココから』

開港5都市景観まちづくり会議は、開港港になった5都市(神戸、長崎、新潟、函館、横浜)の市民団体が集い、景観まちづくりに関する交流や意見交換を行うことを目的とした大会です。1993年から始まり、今回で20回目の節目の大会となります。

横浜大会2014では、原点となった開港の場を振り返り、開港都市の魅力を探ります。

そして、景観まちづくりの次なる展開に向けて、開港都市の可能性を考えます。

10月17日(金)

14:00～17:00 会場:横浜市開港記念館 講堂(中区本町1-6)

全体会議 I パネルディスカッション

「開港5都市 大学連携のまちづくり」

一般参加可
(先着順)

概要:大学の学生は、「ヨソモノ、バカモノ、ワカモノ」として、地域のまちづくりに新たな視点と活動の力をもたらすと期待されています。そこから生まれてくる取組みが地域の個性や活力を伸ばしていくことで、継続的なまちづくり活動へとつながることができます。このため、これからは大学連携のまちづくりがより一層重要になると考えられます。

パネルディスカッションでは、大学側から大学連携の取組みを紹介するとともに、まちづくり団体側から大学連携に向けた期待と課題を発表し、開港5都市における大学連携の今後の可能性について考えます。

18:00～20:00 会場:横浜ローズホテル(中区山下町7-7)

ウェルカムパーティー (一般の方は参加できません。)

10月18日(土)

一般の方は参加できません。

9:30～16:30

分科会 I 「港と未来」

概要:港周辺の現況を船上やまちあるきにより水陸両方から視察するとともに、港の未来についてプレゼンテーションを行い、各都市の方々と意見交換します。

10:00～16:00

分科会 III 「創造都市とまちづくり」

概要:創造まちづくりの実践の場である、アート、建築、ソーシャルデザインなどのクリエイターの拠点を訪ねるまちあるきを行います。

18:00～20:00 会場:田中家(神奈川区台町1-1-1)

オプションツアー 「神奈川宿における開港と移り変わり」

概要:江戸時代から続く料亭を体験しながら、開港が神奈川宿にもたらした影響について考えます。

9:30～16:00

分科会 II 「歴史を生かしたまちづくり」

概要:関内・関外地区に残る戦後のモダニズム建築や防火建築帯などの特徴的な建築を活用した事例を見学し、レクチャーを受けます。

10:00～16:00

分科会 IV 「オープンデータ」

概要:スマートフォンやタブレットを使い、関内周辺の古写真や絵葉書などの画像などを見ながらまちを探索する「ARまちあるき」とワークショップを行います。

10月19日(日)

一般の方は参加できません。

10:00～11:00 会場:ヨコハマNEWSハーバー(中区太田町2-2-3)

全体会議 II

概要:分科会報告、大会旗引継ぎ、大会宣言

■開港5都市景観まちづくり会議横浜大会実行委員会 構成団体

伊勢佐木町1・2丁目地区商店街振興組合、横浜の観光を考える会、協同組合伊勢佐木町商店街、吉田町名店街会、NPO法人横浜シティガイド協会、宇徳ビルヨンカイ、関内まちづくり振興会、大さん橋国際客船ターミナル、協同組合元町SS会、関内・馬車道エリアマネジメント連絡協議会、公益社団法人神奈川台場地域活性化推進協会、NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ、日本大通り活性化委員会、株式会社テレビ神奈川、NPO法人HamaBridge濱橋会、BankART1929、馬車道商店街協同組合、mass×mass関内フューチャーセンター、公益社団法人横浜歴史資産調査会、商店街振興組合元町クラフトマンシップ・ストリート、ヨコハマ創造都市センター、山下公園通り会、横浜中央地下街商店会、一般社団法人美港都市横浜を創る会、横浜中華街発展会協同組合、横浜の文化で、ハイカラなまちを創るプロジェクト

開港5都市
景観まちづくり会議